

公益社団法人群馬県医師会

vol. 4

保育サポーターバンク通信



仕事を続けながら子どもを育てていくことがつらいことか。そのことに不安を覚えたことのない女性医師は、恐らくいないのではないかと思います。私が妊娠したのは今から20年以上前のことで、当時の私は大病院に勤務する駆け出しの麻酔科医でした。長男を出産し、翌年には長女を妊娠。今のように女性医師の勤務体制が整備されていなかった時代ですから2人の幼子を育てながらの生活は厳しいものでした。その後、夫と共に留学したスウェーデンでの生活が、ひよっとすると私の子育ての転機だったかもしれません。ほとんどの女性が仕事と子育てを両立し、それを国がサポートする高福祉国家で、忙しいながらも充実した研究生生活と子どもたちとのかけがえのない時間を両立することができました。この2年間は私にはとても貴重な経験であり、はじめて子育てとは大変なものではなく楽しむものなんだということを実感できました。

今は両親と夫の支えで2人の子どもたちも無事成人し、子育ても一段落したと胸を撫で下ろしているところです。

女性活躍という言葉が社会全体で勢いを増す昨今ですが、残念ながら福社国家に比べ、女性医師への支援はまだ充分ではありません。それは医学界全体にとって大きな損失です。保育サポーターバンクとはまさに、社会が女性医師の育児と仕事の両立を支えようという画期的なシステムであり、これからの医療を担う若い女性医師が子育てを理由に仕事やキャリアを諦めてしまうことがないように、今後のますますの発展と充実を応援していけたらと思います。



仕事と子育て

館林市邑楽郡医師会 副会長 松本 恵理子

INFORMATION

活動報告

月日	場所	内容
2018年 4月15日(日)	群馬県医師会 セミナー室	第14回保育サポーター研修会
2018年 7月 3日(火)	高崎市市民活動センター・ソシアス	保育サポーター意見交換会
2018年10月19日(金)	前橋市総合教育プラザ	保育サポーター資質向上研修会「調理講習会」
2018年11月11日(日)	群馬県医師会 セミナー室	第15回保育サポーター研修会

助成制度の紹介

- 子育て支援助成制度**  
利用医師に利用料金の一部を助成します。
- チャイルド(ジュニア)シートの貸与**  
保育サポーターにチャイルド(ジュニア)シートを貸与します。
- インフルエンザ予防接種料金の助成**  
保育サポーターにインフルエンザ予防接種料金の一部を助成します。
- 緊急時のタクシー料金助成**  
サポート中に緊急でタクシーを利用した場合に料金を助成します。

【保育サポーターバンク登録人数】

(2019年2月末日現在)

医師/161名 保育サポーター/196名

【保育サポーターバンク利用状況】

(2019年2月)

利用医師/58人 総利用時間/1579時間



保育サポーター 資質向上研修を開催しました!

2018年10月19日(金)前橋市総合教育プラザにて、野菜のおいしさを生かして簡単に作れる子ども食事をテーマにした「調理講習会」を開催しました。講師として、高崎で食を中心とした活動を行っている「ゆいの家」を主宰されている、高石知枝様をお招きしました。

にんじん、たまねぎ、しいたけを使った「基本の重ね煮」を中心とした料理は、素材のエネルギーを引き出してきて、野菜本来のおいしさを存分に感じる事ができました。また、食材の持ち味を生かす調味料や道具(土鍋)を使うことも大事であると学びました。

調理後には参加者全員で試食を行い、食の大切さや料理の楽しさを学ぶとともに、参加者同士のコミュニケーションも図ることができ、「参加してよかった」「早速サポーターに活かしたい」などの声が寄せられました。参加者は26名でした。

ホームページをご活用下さい!

群馬県医師会保育サポーターバンクのホームページでは、保育支援申込書や保育サポーター登録票などがダウンロードできますので、これからサポーターバンクの利用をお考えの方はご活用下さい。

また、過去の保育サポーターバンク通信も閲覧できますのでぜひご覧下さい。

ホームページ <http://www.gunma.med.or.jp/hoiku/>

群馬県医師会保育サポーターバンク

保育サポーター募集中

保育サポーターバンクでは、県内子育て医師をサポートしてくださる保育サポーターを募集しております。お知り合いの方へ保育サポーターバンクを紹介していただけると大変ありがたいです。子育て医師が離職せず動き続けることで、医師不足解消を目指します。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

詳細は、上記ホームページをご覧ください。下記お問い合わせ先までお気軽に電話やメールなどでご連絡下さい。多くの方の登録をお待ちしております。

乳幼児のスマートフォン使用について

医学まめ知識

群馬県医師会理事 今泉友一

- **発達への影響を考えよう**  
乳幼児がスマートフォン(スマホ)を長い時間見ていると、言葉の発達が遅れる危険性や目の発達への影響も心配されています。
  - **スマホを使わせない工夫を**  
したがって、外出する時はお気に入りの絵本やおもちゃを持って出かけるなど、スマホを子どもに見せない育児を心がけてみてはいかがでしょうか。
- 親御さんも、不必要にスマホを触っていませんか? 「子どもがいる時はなるべく使わない」、「食事中には使わない」を心がけ、まずは私たち大人がスマホを上手に使えるようになりましょう。
- (日本医師会、健康プラザ No.516より)

# 利用医師の声



長女の出産後、常勤復帰を目指していた際に、先輩の女性医師から教えられたこと。『保育園だけじゃダメ、祖父母、そしてベビーシッターさんのような保育園以外の協力者を作らないと。』三重保育、三重保育を確保しなくてはね！

私の場合は民間のシッター会社を利用し、それを実践することができました。常勤の仕事を探して開業を模索していた頃、若い女性医師から保育サポーターバンクのことを耳にしました。その時には、子どももある程度大きくなっており、緊急の呼び出しや急に帰宅できなくなるなどの突発的な事態が起こらないであろう開業医がその制度を利用することに遠慮がありました。

開業してしばらくした頃、親しい同級生の講演を聞きました。習い事や塾の送迎などでサポーターさんにお世話になっており、本当に助かっている、ということでしたので、私も思い切ってお願いすることにしました。育児のヘテランであるサポーターさんに週2回ほど来ていただくことで、高齢の両親、義父母の負担を減らすことができました。何より、子どもたちを見守って下さる大人がいることの安心感かけがえないものです。夜間診療の当番や夜の勉強会出席の際にも、子どもたちの送迎を快く引き受けてくださるサポーターさんは、本当にありがたい存在です。いつもありがとうございます。(H.Sさん)

# サポーターさんからの声



私がサポーターさんをお願いするようになって早8年、3歳だった息子は11歳になりました。定時で帰るといふ勤務状態ではなかったため、平日はほとんど毎日、幼稚園や学校・学童終了後から夜まで、習い事の送迎、夕食や入浴、宿題を見てもらったり、一緒に遊んでもらったりと、サポーターさんには何から何まで本当にお世話になりっぱなしです。ずっと同じサポーターさんをお願いできているのもあり、最近少し反抗期になってきた息子とも上手向き合っていたいただき、ありがたくなっています。

医師としての責任を持つと、仕事を続けたいの思いで働いていますが、子ども向き合う時間的余裕がなく、時には育児と仕事の両立のジレンマや子どもへの罪悪感などを感じることもあります。子どもが自分の家のようにくつろいだりわがままを言ったりする環境を作ってくれたサポーターさんの存在で、私自身のそういった気持ちも軽くなり、精神的にも安定して仕事を続けることができていると思います。

働く私たちの心の支えにもなってくれたこの保育サポーターバンク制度に感謝しつつ、今後ますます充実した支援を期待しています。(R.Nさん)



自分自身の子どものために手が掛からなくなった頃と保育サポーターバンク発足時期が重なり、登録して早6年。振り返ると「アツ」と言う間でした。沢山の先生家族と出会い、幼稚園の送迎や習い事の送迎、夕飯作り等をお手伝いしてきました。

なかでも楽しみは、子どもたちと車内での会話でしょうか？幼稚園での出来事や学校での出来事をたくさん話してくれました。この話を聞くのが私の活力の一つになっています。最近ではサポーター先の公園などで「お母さんですか？」と聞かれて「いいえ」「おばあちゃんです」と言うのも平気になりました。

これから子どもたちの10年後、20年後の成長が身内のように楽しみます。今後子どもたちからパワーをもらい安全運転に心がけ見守ってまいります。(Y.Mさん)

## 紹介

# キッズ・ジュニアタクシーのご紹介

保育サポーターバンクでは、保育サポーターの皆様に尽力をいただき、お客様の預かり・送迎等のサポートを行っております。

また民間のタクシー会社でも、お子様の送迎につきましては、キッズ(ジュニア)タクシーというサービスを行っているところがあります。そこで今回、日本中央タクシーの「キッズ・ジュニアタクシー」のご紹介をさせていただきます。

保育サポーターバンクでは、子育て医師と保育サポーターのコーディネートを行っておりますが、調整にお時間が掛かり、すぐにコーディネートできない場合もございます。この「キッズ・ジュニアタクシー」はそのような場合の選択肢の一つになるかと思っております。

**日本中央タクシー キッズ・ジュニアタクシーについて**

- 学校・塾・習い事等への送迎にご利用いただけます
- 登録については、事前登録制となります(日本中央タクシーへ直接お申し込みください)
- 料金については、事前に決めていた場所から場所までであれば、料金も事前に決まっています
- それ以外の場合は、通常のタクシーメーターの料金となります
- お支払いは、毎月銀行振り込みとなります
- 利用方法は、ネットや電話での予約制です
- 女性ドライバーもいらっしゃいます

その他詳細につきましては、日本中央タクシーのWEBサイトをご覧ください  
(「日本中央タクシー キッズ」で検索下さい)

お問い合わせ先：日本中央タクシー Tel: 0120-915-194  
<http://www.nck-taxi.jp/>

# 上毛新聞に保育サポーターバンクの記事が掲載されました!

平成30年10月17日の上毛新聞に、保育サポーターバンクの記事が掲載されました。平成24年に設立した保育サポーターバンクですが、年々利用者・利用件数が増え、平成29年度の利用は過去最多となりました。保育サポーターバンクがここまで成長できたのも、利用医師・保育サポーターをはじめとする関係の皆様のおかげです。あらためて感謝申し上げます。また今後とも、ご支援・ご協力をいただきますようお願い致します。

**県医師会の保育サポーター**

**口コミで人気 利用過去最多**

子どもの迎え、一時預かり...

2012 2013 2014 2015 2016 2017 (年間)

2012年5月から運営開始

医師の仕事と子育てを両立できる環境をつくるため、県医師会(須藤英仁会長)が運営する「保育サポーターバンク」が好評です。地域住民がサポーターとなり、保育園などへ子どもを迎えに行ったり、自宅で預かっていたりする取り組みで、多忙な医師の勤め人になっている。2017年度の利用は8763件、利用登録者は140人で、いずれも過去最多となった。

「総合病院で勤務を続けられるのは、サポーターのおかげ」。5歳と10歳の娘を育てる前橋赤十字病院(前橋市の清水真理子医師は感謝する。夫や両親と協力して子育てしているが、仕事が引いたり、急に勤務になったりすること

「3年度に30名以上利用件数は年々増加傾向。8倍に拡大し、すっかり定着した。医師会の担当者も「職場内の口コミの力も大きい」とお喜び。群馬での働きやすさを知られておくと、群馬大医学部の学生にも制度を周知している。

県は度々運営にかかる費用を補助し、医師会を後押しする。医師確保対策は「女性医師の活躍の場だけ」ではなく、男女共同参画を進める上でも重要な取り組み。今後とも医師会と連携し、支えたい」として

